



2018年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月10日

上場会社名 北興化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4992 URL https://www.hokkochem.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 喜勝
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 神原 靖夫 TEL 03-3279-5152
 四半期報告書提出予定日 2018年7月10日 配当支払開始予定日 2018年8月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2018年11月期第2四半期の連結業績（2017年12月1日～2018年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年11月期第2四半期	25,769	2.7	2,526	1.6	3,066	△9.4	2,163	△15.3
2017年11月期第2四半期	25,085	0.3	2,485	4.6	3,383	52.6	2,552	66.8

(注) 包括利益 2018年11月期第2四半期 2,141百万円 (△34.4%) 2017年11月期第2四半期 3,261百万円 (184.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年11月期第2四半期	79.85	—
2017年11月期第2四半期	92.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年11月期第2四半期	49,773	23,878	48.0
2017年11月期	40,438	21,926	54.2

(参考) 自己資本 2018年11月期第2四半期 23,878百万円 2017年11月期 21,926百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年11月期	—	5.00	—	7.00	12.00
2018年11月期	—	6.00	—	—	—
2018年11月期（予想）	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2018年11月期の連結業績予想（2017年12月1日～2018年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,400	4.0	2,650	15.9	3,100	△12.5	2,100	5.6	76.55

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規一社（社名）、除外一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年11月期2Q	29,985,531株	2017年11月期	29,985,531株
② 期末自己株式数	2018年11月期2Q	2,903,014株	2017年11月期	2,902,596株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年11月期2Q	27,082,679株	2017年11月期2Q	27,552,327株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想に関しましては現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に、設備投資の増加や雇用情勢の改善が継続し、緩やかな回復が継続しましたが、地政学的リスクや米国の通商政策の動向など、世界経済の変動には留意すべき状況も続きました。

国内農業においては、「農林水産業・地域の活力創造プラン」が2017年12月に改訂され、農業の更なる成長産業化に向けた検討が進められていますが、農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など厳しい状況が続いています。また、海外では、世界的な人口の増加や新興国経済の成長による農作物需要の拡大が今後も続く予想されます。

ファインケミカル業界においては、AIやIoTなど新しい技術革新に伴う半導体デバイスの需要拡大やクリーンエネルギー車(EV, PHV)の普及による新たな産業の台頭等により大いに活気づいています。

一方で「世界の工場」と言われる中国の環境問題に対する規制強化による原料の供給不安や環境対策関連コストの上昇に伴う製造コストの増加など、複雑な状況にも直面しています。

このような状況のもと、当社グループは、「既存事業の収益基盤強化」、「事業分野・領域の拡張」、「健全な財務体質の維持」を基本方針とする3ヵ年経営計画「HOKKO Growing Plan 2020」(2018/11期～2020/11期)の経営目標達成に向けて、新製品の普及や新規受託品の受注活動に注力しています。

当第2四半期の業績は、農薬事業における水稻育苗箱処理剤やファインケミカル事業における電子材料などの販売が増加したことから、売上高は257億6千9百万円(前年同期比6億8千4百万円の増加、同2.7%増)と拡大しました。営業利益は、海外子会社の製造コストの上昇や研究開発費・販売手数料など販売費及び一般管理費が増加し、25億2千6百万円(前年同期比4千1百万円の増加、同1.6%増)と前年同期に比べ微増にとどまりました。また、経常利益は、受取配当金の減少並びに為替差損の増加により、30億6千6百万円(前年同期比3億1千7百万円の減少、同9.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、21億6千3百万円(前年同期比3億9千万円の減少、同15.3%減)となりました。

事業別の状況は以下のとおりです。

〔農薬事業〕

農薬製品の売上高は、国内において水稻育苗箱処理剤などの販売が増加したことから、前年同期比で増収となりました。この結果、本セグメントの売上高は193億3千7百万円(前年同期比4億7千3百万円の増加、同2.5%増)となりました。また、営業利益は、研究開発費や販売手数料など販売費及び一般管理費が増加したことから、15億2千2百万円(前年同期比3千5百万円の増加、同2.3%増)となりました。

〔ファインケミカル事業〕

ファインケミカル製品の売上高は、電子材料や樹脂分野での販売が好調に推移するなど、前年同期比で増収となりました。この結果、本セグメントの売上高は64億2千万円(前年同期比2億1千1百万円の増加、同3.4%増)となりました。また、営業利益は、海外子会社における製造コストの上昇などが影響し、9億9千6百万円(前年同期比2百万円の増加、同0.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は497億7千3百万円となり、前連結会計年度末比93億3千6百万円の増加となりました。これは、受取手形及び売掛金の増加が主な要因です。

負債の残高は258億9千6百万円となり、前連結会計年度末比73億8千5百万円の増加となりました。これは、短期借入金の増加が主な要因です。

純資産の残高は238億7千8百万円となり、前連結会計年度末比19億5千1百万円の増加となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、66億7千5百万円の支出超過（前年同期は51億9千7百万円の支出超過）となりました。これは、主に売上債権の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、8億2千2百万円の支出超過（前年同期は8億6千2百万円の支出超過）となりました。これは、主に有形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、70億3千万円の収入超過（前年同期は62億5千6百万円の収入超過）となりました。これは、主に短期借入金の増加によるものです。

(現金及び現金同等物の四半期末残高)

現金及び現金同等物の四半期末残高は期首残高より4億9千7百万円減少し、9億5千7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年11月期の連結業績予想につきましては、2018年1月12日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,454	957
受取手形及び売掛金	9,949	22,210
商品及び製品	10,486	7,202
仕掛品	344	345
原材料及び貯蔵品	4,690	5,463
繰延税金資産	250	412
その他	308	252
流動資産合計	27,480	36,842
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,815	3,701
機械装置及び運搬具(純額)	2,071	2,033
土地	985	985
その他(純額)	432	590
有形固定資産合計	7,303	7,309
無形固定資産	471	392
投資その他の資産		
投資有価証券	4,948	4,995
繰延税金資産	7	5
その他	241	243
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	5,183	5,230
固定資産合計	12,958	12,931
資産合計	40,438	49,773

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,104	6,661
短期借入金	134	7,919
1年内返済予定の長期借入金	1,040	1,110
未払費用	3,328	2,453
未払法人税等	468	1,073
返品調整引当金	44	18
その他	2,128	2,038
流動負債合計	13,247	21,272
固定負債		
長期借入金	1,940	1,300
退職給付に係る負債	2,700	2,691
その他	624	633
固定負債合計	5,264	4,624
負債合計	18,511	25,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,214	3,214
資本剰余金	2,608	2,608
利益剰余金	14,007	15,980
自己株式	△1,310	△1,310
株主資本合計	18,520	20,492
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,792	2,743
為替換算調整勘定	148	148
退職給付に係る調整累計額	466	495
その他の包括利益累計額合計	3,407	3,385
純資産合計	21,926	23,878
負債純資産合計	40,438	49,773

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年12月1日 至 2017年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年5月31日)
売上高	25,085	25,769
売上原価	18,680	19,281
売上総利益	6,406	6,487
販売費及び一般管理費	3,921	3,962
営業利益	2,485	2,526
営業外収益		
受取利息及び配当金	826	471
受取手数料	97	126
その他	42	51
営業外収益合計	965	649
営業外費用		
支払利息	40	31
為替差損	10	55
その他	17	22
営業外費用合計	67	108
経常利益	3,383	3,066
特別利益		
固定資産売却益	7	0
特別利益合計	7	0
特別損失		
固定資産除却損	24	46
その他	0	—
特別損失合計	24	46
税金等調整前四半期純利益	3,366	3,020
法人税等	814	858
四半期純利益	2,552	2,163
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,552	2,163

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年12月1日 至 2017年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年5月31日)
四半期純利益	2,552	2,163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	672	△49
為替換算調整勘定	△22	△1
退職給付に係る調整額	59	28
その他の包括利益合計	709	△22
四半期包括利益	3,261	2,141
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,261	2,141

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年12月1日 至 2017年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,366	3,020
減価償却費	726	632
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△44	32
受取利息及び受取配当金	△826	△471
支払利息	40	31
固定資産処分損益 (△は益)	17	46
売上債権の増減額 (△は増加)	△11,033	△12,263
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,730	2,509
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,806	558
未払費用の増減額 (△は減少)	△1,146	△874
その他	△378	78
小計	△5,743	△6,701
利息及び配当金の受取額	826	471
利息の支払額	△45	△32
法人税等の支払額	△236	△417
法人税等の還付額	1	5
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,197	△6,675
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	-	△117
有形固定資産の取得による支出	△828	△684
有形固定資産の売却による収入	17	3
無形固定資産の取得による支出	△39	△21
その他	△12	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△862	△822
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7,181	7,789
長期借入金の返済による支出	△771	△570
配当金の支払額	△151	△189
その他	△3	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,256	7,030
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△30
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	195	△497
現金及び現金同等物の期首残高	961	1,454
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,156	957

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間(自 2016年12月1日 至 2017年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	農薬事業	ファインケ ミカル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,864	6,209	25,073	12	25,085	—	25,085
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	141	141	△141	—
計	18,864	6,209	25,073	153	25,226	△141	25,085
セグメント利益	1,487	994	2,481	3	2,485	—	2,485

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II. 当第2四半期連結累計期間(自 2017年12月1日 至 2018年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	農薬事業	ファインケ ミカル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,337	6,420	25,757	11	25,769	—	25,769
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	189	189	△189	—
計	19,337	6,420	25,757	200	25,957	△189	25,769
セグメント利益	1,522	996	2,518	7	2,526	—	2,526

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。